

各公立大学の学生ボランティア派遣について

【23公大協第102号】学生の復興支援活動への各大学の取組に関する調査（照会）（平成23年11月16日付）

H23. 12. 27現在

No.	大学名	期間	派遣場所	人数(学生)	その他(備考)
1*	札幌医科大学	該当なし			
2	釧路公立大学	回答なし			
3*	公立はこだて未来大学	該当なし			
4	名寄市立大学	回答なし			
5*	札幌市立大学	該当なし			
6*	青森県立保健大学	5月21日(土)	岩手県山田町	16名	青森ロータリークラブの支援活動に同行し、炊き出し支援を行った。青森市・むつ市などと連携し、情報を共有し長期的な支援活動を行う予定。青森地域大学間連携協議会と連携し、学生ボランティアの活性化と長期的支援活動を展開。
		9月7日(水)～13日(火)		学生15名	「いわてGINGA- NETプロジェクト」(第7期)へのボランティア参加。移動バス等及びボランティア参加負担金については本学が支援した。
		10月2日(日)	岩手県九戸郡	学生17名	「笑顔プロジェクト②」岩手県九戸郡野村仮設住宅集会所にて長期支援活動を開始した。身体測定、健康相談、茶話会、学生サークルの演奏会(津軽三味線)を行った。
		10月30日(日)	岩手県九戸郡	学生4名	「笑顔プロジェクト④」岩手県九戸郡野村仮設住宅集会所にて身体測定、健康相談、茶話会、学生サークルの演奏会を開催した。
		11月3日(木)		学生6名	「笑顔プロジェクト⑤」として、県外避難者の家族と落ち葉拾いと焼きいも会開催
		11月27日(日)	岩手県九戸郡	学生14名	「笑顔プロジェクト⑥」岩手県九戸郡野村仮設住宅集会所にて身体測定、健康相談、茶話会、炊き出し支援活動を実施した。
		12月17日(土)	岩手県九戸郡		「笑顔プロジェクト⑦」岩手県九戸郡野村仮設住宅集会所にて支援活動実施予定。(12/8現在)
7*	青森公立大学	該当なし			

No.	大学名	期間	派遣場所	人数(学生)	その他(備考)
8*	岩手県立大学	3月21日 ～4月17日	釜石市・陸前高田市	学生延べ250名	釜石及び陸前高田市の災害ボランティアセンターの運営に参画
		4月10日	大船渡市・釜石市・大槌町	学生約100名	・ユニセフと協同し学生ボランティアバス(「子ども遊びキャラバン隊」)により子どもたちに遊びの機会の提供 ・関西の3大学(佛教大学、関西学院大学、神戸学院大学)の学生たちも参加し、たこ焼きづくりなどを実施
		4月11日 ～4月19日	陸前高田市・大槌町	学生延べ244名	「いわてっこ応援！Unicef学生ボランティアバス」を岩手県立大学、盛岡大学、Unicefと協同実施(教室の泥出し、床拭き、窓拭き等)
		4月19日 ～5月9日	沿岸市町村等	学生延べ約500名	Ginga-net(大学関連ネットワーク)、関西の20以上の大学の学生等と共同して活動
		4月30日 ～5月1日	大槌町		「いわてっこ応援！学生ボランティアバス」の運行、大槌町で「子ども支援」のボランティア活動を実施(明治学院大学の学生と共同で活動)
		5月5日～15日	野田村	学生1名	災害ボランティアバスリーダー、救援物資仕分け(盛岡社会福祉協議会からの要請)
		6月19日	宮古市	教職員9名 学生8名	・宮古市津軽石地区における民家周辺のカレキ撤去 ・重茂半島における化粧ボランティア
		7月23日	宮古市	学生4名	宮古市の避難所からの衣服等の搬出等
		9月24日	大槌町	教職員4名 学生21名 オハイオ大学17名	鮭・イトヨプロジェクト参加(大槌中学校前の河川の泥出し)
		8月3日 ～9月20日	沿岸市町村	全国から146大学 1,086名の学生が参加	いわてGINGA-NETプロジェクト 沿岸部のボランティア活動を実施
		10月1日	宮古市	教職員10名 学生50名	岩手県立大学看護学部教員・学生有志による炊き出し
		11月5日	宮古市	教職員4名 学生9名	仮設住宅の集会場における住人(高齢者、お母さん、子ども等)との交流
		4月1日～	岩手県沿岸市町村等	教員3名 学生20名	T支援団体から貸与されたパソコン、プリンタの設定及び配布
		5月21、28日 6月4、11、18、25日 7月10、18日	陸前高田市	教職員延べ43名 学生延べ53名	孤立世帯への飲料水の運搬・配布
		6月11日	盛岡市	教員1名 学生6名	避難所、仮設住宅で生活している女性被災者用の物資の仕分けと配分(NPO法人さんかくプランニング岩手からの要請)
		7月9日	盛岡市	教員1名 学生20名	ドインKBS社からの支援物資(洋服8t)の仕分け作業

No.	大学名	期間	派遣場所	人数(学生)	その他(備考)
9*	宮城大学		仙台市・石巻市・南三陸町・亘理町	延べ692名	<p>学生有志110名により学生災害支援隊を結成。被災市町村のボランティアセンターを通じ、平成23年7月27日現在で計21回の派遣を行う。うち4回は兵庫県立大学と合同で、同大からも延べ90人が参加した。</p> <p>学生ボランティアの地域復興支援事業として①仮設住宅等の生活環境向上整備等の協同作業の直接支援②協働によるコミュニティープラン策定及び事業展開への支援③復興支援のための実証実験、イベント等の支援を予定。具体的には①仮設住宅及び周辺の清掃、防災、見回り支援。花壇、集会所などのコミュニティースペースの確保支援。他地域からのボランティアとの連携による支援②自主防災、避難行動等を意識した住民による計画支援。避難ルートの整備や避難訓練の実施。③グリーンツーリズム、ブルーツーリズム等のモニターツアーの実験。大学間連携による復興セミナー、プロジェクト。</p> <p>4月12日より活動を開始。被災市町村のボランティアセンターを通じ、平成23年10月31日現在で計50回の派遣を行う。うち6回は兵庫県立大学と合同で、同大からも延べ643人が参加した。</p> <p>学生ボランティア主な活動は、①仙台市及び石巻市の瓦礫撤去、泥出し作業、②南三陸町での傾聴ボランティア、③亘理町でのイチゴハウスの建設。</p>
10*	秋田県立大学			39名	<p>本学教員が中心となり、秋田大学教員やNPO、市民団体などで行く「災害ボランティア活動支援ネットワークあきた」を立ち上げた。</p>
		随時	岩手県宮古市、釜石市、陸前高田市、宮城県気仙沼市、女川町他	学生延べ314名(システム300名、生物14名)	<p>学生ボランティア団体「UP-A」を中心に、岩手県遠野市「まごころネット」や大船渡市陸前高田市、女川町などのボランティアセンターに登録し、瓦礫の撤去、清掃活動、炊き出しに従事した。</p>
		6月25日(土)	岩手県陸前高田市	学生16名	<p>NPO法人・地元企業と連携し、炊き出し支援を行った。</p>
		10月8日(土)	宮城県女川町	学生13名	<p>NPO法人・地元企業と連携し、炊き出し支援を行った。</p>
		11月26日(土)	宮城県気仙沼市	学生90名	<p>行動力と創造力に富み社会性豊かな人材を育てようとする本学の取り組み「薫風・満天フィールド交流塾」の一環として、学生・教職員が参加し、炊き出し支援のほか、児童向けの科学教室やコンサートなどを行った。</p>
11*	国際教養大学	11月19日(土)～20日(日)	陸前高田市、気仙沼鹿折地区、大船渡市	学生19名(男性9名、女性10名)	<p>本学と旅行代理店「名鉄観光」、被災地のボランティア、本学の震災学生ボランティア団体「AIU Supporter」の協働で実施する。</p> <p>活動初日は、被災地を訪問し、復興の状況を学習する。2日目はボランティア活動に参加する。</p>
12*	山形県立保健医療大学				<p>学生ボランティアサークル活動について、山形市・西川町あるいは山形県と連携して活動してきた。</p>
13*	福島県立医科大学	該当なし			
14*	会津大学				<ul style="list-style-type: none"> ・県設置避難所での活動(会津高校、葵高校、会津学鳳高校)、炊き出し支援(おにぎり)、ユニクロ支援物資の仕分け作業、檜葉町仮設住宅(所在地:会津美里町)への入居支援など ・短期大学部において、特定非営利法人等が連携した「元氣玉プロジェクト実行委員会」が行った炊き出し(おにぎりづくり)への支援
15	茨城県立医療大学	該当なし			
16	群馬県立女子大学	該当なし			
17	群馬県立県民健康科学大学		岩手県遠野市	学生5名	<p>岩手県遠野市ボランティアセンターに5日間参加</p>
		4月23日(土) 24日(日)		23日(土)参加学生数49名 24日(日)参加学生数23名	<p>群馬県が県民から収集した支援物資の仕分けに、本学学生ボランティアが参加。</p>

No.	大学名	期間	派遣場所	人数(学生)	その他(備考)
18*	高崎経済大学	①7月23日～26日	宮城県石巻市	学生28名	受け入れ先:ピースポート災害ボランティアセンター等。石巻市における側溝の清掃作業等実施。
		②7月27日～29日		学生28名	
		③7月30～8月2日		学生30名	
		④8月4日～7日		学生24名	
		⑤8月4日～7日 別グループ		学生30名	
19	前橋工科大学	4月30日(土)	福島県いわき市	学生ら34名	津波により甚大な被害にあった観光物産センター「いわき・ら・ら・ミュウ」で泥や油で汚れた調理器具など、がれき撤去を行ってきました。
20*	埼玉県立大学			学生約70名	被災地から埼玉県内(さいたまスーパーアリーナ)に避難されている方にを保育ボランティア等の活動を実施。
		H23.9.24～9.27	岩手県陸前高田市	学生10名	埼玉県越谷市社会福祉協議会主催の震災復興支援ボランティア活動に参加
21	千葉県立保健医療大学	該当なし			
22*	首都大学東京	8月27日～9月8日	岩手県釜石市	学生12名	首都大学東京健康福祉学部の教員3名、学生12名が、8月27日から9月8日までの計11日間3班に分かれて、荒川区社会福祉協議会の協力を得て岩手県釜石市社会福祉協議会釜石市災害支援ボランティアセンターにおいて被災者への支援活動を行った。 主な活動として、仮設住宅団地での住民の方たちとの交流、血圧測定などによる健康状態の把握、健康に関する不安などに対するアドバイス、ストレス軽減のためのマッサージや被災後の生活上の悩みや被災体験の傾聴等を行った。 (参照) http://www.tmu.ac.jp/activity/awards/4025.html
23*	産業技術大学院大学	回答なし			
24	神奈川県立保健福祉大学				学生ボランティアセンターの企画運営による被災地ボランティア活動
25*	横浜市立大学	該当なし			
26	新潟県立看護大学	これまで該当なし			
27*	新潟県立大学	回答なし			
28*	山梨県立大学	これまで7回	宮城県気仙沼市	学生延べ40名	宮城県気仙沼市を中心にボランティア活動に参加。学生による子ども学習支援活動など
29*	都留文科大学	該当なし			
30	長野県看護大学	該当なし			
31	富山県立大学	回答なし			
32*	石川県立看護大学	回答なし			
33*	石川県立大学	該当なし			
34*	金沢美術工芸大学	7月21日～9月15日		延べ11名	現地入りし、泥出し、家具・畳等の運び出し、瓦礫の分別等を行った。
35*	福井県立大学		陸前高田市	学生26名	福井県内の高等教育機関で構成する大学連携リーグによる東日本大震災ボランティア派遣の実施。
36*	岐阜県立看護大学	該当なし			

No.	大学名	期間	派遣場所	人数(学生)	その他(備考)
37	情報科学芸術大学院大学	該当なし			
38	岐阜薬科大学	3月14日から1週間 3月25日から1週間	岩手県山田町 宮城県石巻市、気仙沼市	2名(社会人学生)	
39*	静岡県立大学			学生3名	静岡県社会福祉協議会ボランティア
				学生8名	静岡県ボランティア協会の派遣
		4月27日(水)～8月13日(土)のうち3回	岩手県大槌町・陸前高田市・釜石市	学生3名(延べ人数)	静岡県社会福祉協議会ボランティア
		5月12日(木)～9月26日(月)のうち14回	岩手県大槌町・陸前高田市・釜石市	学生21名(延べ人数)	静岡県ボランティア協会の派遣
		8月17日(水)～8月23日(火)	岩手県大槌町・陸前高田市・釜石市	学生7名	岩手県立大学学生ボランティアセンターが中心となって進める「いわてGINGA-NETプロジェクト」へ参加。
40*	静岡文化芸術大学	3月27日(日)～31日(木)	宮城県石巻市	学生4名	
		5月2日(月)～6日(金)	宮城県石巻市	学生4名	
					震災直後より、学生の有志が復興支援のための実行委員会(「SUAC For Japan」)を立ち上げ、ボランティア活動に精通した教員の助言の下、様々なボランティア活動、チャリティ活動を行っている。
41*	愛知県立大学	①8月24日～30日 ②9月14日～20日	岩手県大槌町、釜石市、大船渡市、陸前高田市等	①学生20名(男性5名、女性15名) ②学生57名(男性17名、女性40名) (内愛知県立芸術大学の学生 ①2名②2名)	「いわてGINGA-NETプロジェクト」実行委員会が参加を呼び掛けている震災復興支援ボランティア派遣に愛知県立大学と連携を図りながら学生を派遣し、支援活動を実施。活動内容は仮設住宅でのサロン活動、小学生を中心にした学修支援、放課後支援、お祭り等地域行事開催支援。
42*	愛知県立芸術大学				
43*	名古屋市立大学		宮城県仙台市若林区、宮城県石巻市	経済学部2名	2日～5日間、民家や田んぼのガレキ撤去、泥かき等を行う
		①5月27日～6月4日	宮城県石巻市	芸術工学部1名	期間中7日間、炊き出し、ガレキ撤去。
		②10月1日～4日	岩手県陸前高田市	芸術工学部1名	期間中2日間、損壊した家財やヘドロ等の撤去、仮設住宅での支援活動など。
		③11月4、5日	岩手県陸前高田市気仙町	芸術工学部1名	2日間、ガレキ撤去。
		④7月13日～7月17日	宮城県石巻市	経済学部1名	期間中3日間、ガレキ撤去。
		⑤9月14日～9月20日	釜石市、大槌町、大船渡市、陸前高田市、住田町	看護学部1名	期間中5日間、仮設住宅でのサロン活動、子供向けの学習支援・遊び支援、お祭り等地域行事の開催支援等

No.	大学名	期間	派遣場所	人数(学生)	その他(備考)
44*	三重県立看護大学	8月24日～30日	岩手県大槌町、釜石市、大船渡市、陸前高田市、住田町等	学生他30名	「いわてGINGA-NETプロジェクト」と連携して、本学学生を被災地に派遣してボランティア活動を行う。活動内容は、仮設住宅でのサロン活動、子供向けの学習支援、遊び支援、お祭り等地域行事の開催支援等。
45*	滋賀県立大学	5月連休	南三陸町志津川	8名	災害復興支援ボランティア活動
		8月	南三陸町歌津地区	宮城大・滋賀県大の教員、滋賀県大の学生合わせて6名 学生33名	宮城大の教員が南三陸町志津川の漁協組合員のために仮設の番屋(作業小屋)を建設するプロジェクトを実施することになり、以前から同教員と交流のあった本学の教員と学生が建設作業の支援を行った。 「木興プロジェクト」として番屋を建設した。
46*	京都府立大学	8月19日(金)～8月22日(月)	宮城県気仙沼市	学生1名	いわてGINGA-NETプロジェクト参加 7人
		11月11日(金)～11月14日(月)	宮城県東松島市	学生1名	東日本大震災で被災した地域の復興支援のため、岩手大学の学生が中心となって行うプログラムに参加する。 災害復興支援ボランティア活動 4人増(8人→12人)
47*	京都府立医科大学	3月～6月	宮城県石巻市	1名	がれき撤去、泥かき、避難所での中高生への勉強への支援等
		7月24日～27日	宮城県気仙沼市	1名	がれき撤去
48	京都市立芸術大学	回答なし			
49*	大阪府立大学	6月8日(水)～12日(日)	岩手県大槌町・陸前高田市	学生3名	災害ボランティア学生派遣準備事業の一環として、避難所での炊き出し、支援物資配給、健康診断の補助、ガレキ撤去などの活動を行った。
		8月28日(日)～9月2日(金)	岩手県大船渡市・陸前高田市・釜石市	学生24名	大阪府立大学の学生等を大阪府等と連携し、大船渡市の介護老人施設(松原苑)並びに遠野市(NPO遠野まごころネット)を拠点に、陸前高田市等へ派遣。学生9名が「松原苑」にて被災された高齢者等への介護支援として、食事介助、清掃支援、会話を中心としたケア等の活動に従事し、学生15名が遠野まごころネットのボランティアメニューとして、陸前高田市内の被災農地及び釜石市内住宅の瓦礫・石ころの撤去等の活動を行った。
		9月7日(水)～13日(火)	岩手県大槌町、釜石市、大船渡市、陸前高田市、住田町等	学生18名	公立大学協会、岩手県立大学、大阪府立大学及び大阪市立大学の学生等が連携し、いわてGINGA-NETプロジェクトのメニュー(仮設住宅のお茶っこサロン、子ども遊び・学習支援、各種イベント支援等)について現地のニーズにマッチした活動を行う。
		12月2日(金)～5日(月)	岩手県大船渡市	学生38名	大阪府との連携により、文化系クラブの5団体(奇術部、混声合唱団エヴァコール、ピアノ部、邦楽部、手話サークル亜飛夢)が、仮設団地集会所(4箇所)において、マジック・ジャグリング、合唱、ピアノ・和楽器演奏、手話コーラスなどの活動を通じて、地域住民との交流を図った。
		12月9日(金)～12日(月)	岩手県陸前高田市、大船渡市	学生25名	大阪府との連携により、交響楽団クラブが、小学校体育館での演奏活動並びに中学3年生の学習支援活動を通して、地域住民との交流を図った。

No.	大学名	期間	派遣場所	人数(学生)	その他(備考)
50*	大阪市立大学	7月1日(金) ～4日(月)	岩手県釜石市	学生17名(男性11名 女性6名)	唐丹町における田畑のがれき撤去作業。釜石市陸上競技場におけるニューヨークの有名シェフによる炊き出し行事の手伝いと交通整理。 (釜石市災害支援ボランティアセンターと連携)
		8月9日(火) ～12日(金)	岩手県釜石市	学生18名(男性10名 女性8名)	唐丹町の津波被害にあった住居(合計5棟)の家財とがれきの撤去作業。 (釜石市災害支援ボランティアセンターと連携)
		9月7日(水) ～13日(火)	岩手県大槌町、釜石市、大船渡市、 陸前高田市、住田町等	学生5名(男性5名)	学生ボランティアの派遣。近畿地区公立大学地区協議会としての東日本大震災学生ボランティア派遣事業に参加予定。(岩手県立大学学生ボランティアセンターが中心となって進める「いわてGINGA-NETプロジェクト」と連携)
		9月16日(金) ～19日	岩手県釜石市	学生18名(男性11名 女性7名)	釜石市災害支援ボランティアセンター等と連携し、東日本大震災復興支援学生ボランティアを継続して派遣予定。
51	兵庫県立大学	5月20日(金) ～23日(月)	宮城県石巻市内	学生18名(男性8名女性10名)	第1次派遣隊として宮城大学の学生ボランティアと協働しボランティア活動を実施。がれき撤去作業、ヘドロ回収作業等。
		7月1日(金) ～4日(月)	宮城県石巻市内	学生20名(男性5名女性15名)	第2次派遣隊として宮城大学の学生ボランティアと協働しボランティア活動を実施。住宅地側溝の泥出し。
		9月12日(金)～15日(月)	宮城県南三陸町内	学生17名(男性7名女性10名)	第3次派遣隊として宮城大学の学生ボランティアと協働し、傾聴ボランティア活動を実施。
		11月25日(金)～28日(月)	宮城県南三陸町内	学生19名(男性5名女性14名)	第4次派遣隊として宮城大学の学生ボランティアと協働し、傾聴ボランティア活動を実施。
52*	神戸市外国語大学	4/25～28	宮城県女川町	学生3名	NPO法人スポ・アートかんさい(外大生が事務局長)による炊き出し活動。
		①8月5日～9月13日 ②9月4日～7日	①岩手県住田町 ②宮城県気仙沼市	①学生34名 ②学生4名	①岩手GINGA-NET主催のツアー、ボランティア保険を大学が負担 ②大学コンソーシアムひょうご主催のツアー(掃除、泥出し)
				学生1名	ハビタットジャパンの活動に個人参加
53	神戸市看護大学	該当なし			ボランティア登録している学生にメールを通じて、いわてGINGA-NETプロジェクトや他の種々のボランティア関連の情報を発信し、ボランティアを希望する学生を支援。
54*	奈良県立医科大学	8月26日～8月30日	福島市、相馬市、南相馬市の保健センター仮設住宅等	学生等20名	奈良県立医科大学学生による震災ボランティアの派遣(計画)。福島県立医科大学医療人育成・支援センターと連携。
55	奈良県立大学				県が実施している「学生等による災害ボランティアバス」制度利用を検討中。
56*	和歌山県立医科大学	該当なし			

No.	大学名	期間	派遣場所	人数(学生)	その他(備考)
57*	島根県立大学		福島県郡山市、宮城県石巻市	学生合計49名	<ul style="list-style-type: none"> ・NPO法人構成員の学生が、福島県郡山市で活動した。 ・島根県社会福祉協議会が派遣する「島根県災害ボランティア隊」に学生が参加して、災害ボランティアとして宮城県石巻市で活動した。同ボランティア隊には、現地のボランティア活動の状況を把握して、今後の支援体制を検討するために、教職員も同行した。
			岩手県陸前高田市、大槌町、釜石市、大船渡市、住田町他		島根県社会福祉協議会と連携し、8月から9月にかけて同協議会が計画している、岩手県陸前高田市を派遣先とする一般県民向けのボランティア隊と岩手県立大学学生ボランティアセンターが参画する「いわてGINGA-NETプロジェクト」の主催する活動に派遣する学生向けのボランティア隊に参加。
		5月6日(金)～10月23日(日)	岩手県陸前高田市、大船渡市、釜石市、大槌町、住田町他 福島県郡山市、宮城県石巻市	学生152名	<ul style="list-style-type: none"> ・NPO法人構成員の学生が、福島県郡山市で活動した。 ・島根県社会福祉協議会と連携し、5月から10月にかけて島根県社会福祉協議会が派遣した「島根県災害ボランティア隊」(一般県民向けのボランティア隊と岩手県立大学学生ボランティアセンターが参画する「いわてGINGA-NETプロジェクト」)の主催する活動に派遣する学生向けのボランティア隊)に学生が参加して、岩手県及び宮城県の被災地で活動した。 ※詳細有り
58*	岡山県立大学	8月～9月の間 (3日から5日)	宮城県七ヶ浜町、南三陸町、岩手県大槌町	14名	<ul style="list-style-type: none"> ・NPO法人AMDAが行う支援活動へボランティアとして看護学生9名が参加。 ・岡山県、岡山県社会福祉協議会が行う復興支援ボランティアへ3名が参加。 ・(社)岡山経済同友会が主催し、大学コンソーシアム岡山が募集した復興支援ボランティアへ2名が参加。
59*	新見公立大学	該当なし			
60*	県立広島大学	6月18日～7月3日		1名	単位付与、履修への配慮などの特別措置なし(欠席扱い)
		夏期休業期間中		3名	ボランティア活動。集中講義(5月)受講、主催団体の証明及びレポート評価により単位付与
					12/2現在 単位付与を行った学生数:追加・変更なし(計3名) (単位付与の対象でない学生数:6名追加(計7名))
61*	広島市立大学	4月～9月	宮城県石巻市、岩沼市、南三陸町 岩手県陸前高田市	9名	日本財団、広島市社会福祉協議会等が実施するボランティア活動に参加し、学校・民家の泥かき、がれきの撤去、表札作り、起業インターンシップ、朝市販売業務の手伝い、避難所における話相手、避難所での生活支援、支援物資の配分、七夕祭りの準備等を行った。
62	尾道大学	該当なし			
63	福山市立大学	該当なし			

No.	大学名	期間	派遣場所	人数(学生)	その他(備考)
64*	山口県立大学	5月末、6月末	宮城県・岩手県	学生15名	授業科目「地域実習」において、学生を派遣する東日本大震災復興支援活動プログラムを立ち上げ(従来の8プログラムに新たに追加)、学生と教員を派遣。2回目の派遣の際、宮城県内の小学校に、パソコン5台を提供した。現地での活動は、瓦礫撤去作業・避難所巡回補助・ニーズ調査補助・足湯とハンドマッサージ・お茶会等。NGO団体(SVA)の指導・助言のもとで、地元企業の社会人とともに現地で活動を行った。現在は、「あんでネット」のサポートに加わり、仮設住宅等で女性グループが作成するアクリルたわしを山口で周知・販売する活動を行っている。
		4月29日～5月2日	岩手県	学生2名	学生ボランティア代表2名を、岩手県立大学災害ボランティア活動拠点(気仙郡住田町)の派遣し、絵本配布作業、写真洗浄作業、炊き出し作り作業等に加わった。
					岩手県立大学社会福祉学部と連携し、同大学が実施している震災ボランティアコーディネート事業(GINGA-NET)に協力するがたちで、学生ボランティア活動を継続的に育成する予定。内容は、岩手県立大学の学生ボランティアセンターの学生の招聘、担当教員の招聘。夏休み等における“GINGA-NET”を窓口とする被災地支援ボランティアへの参加。宮古市唐仁地区における、地域の運動会(村おこし)などの実施支援ボランティアへの参加。学生による災害ボランティアサークル「YU勇気」の活動支援。
		4月19日～現在		学生約30名	学生による災害ボランティアサークル「YU勇気」を組織。当サークルでは、被災地への絵本の寄贈、手作りシュシュの寄贈、防犯ブザーの収集と寄贈を実施したほか、派遣学生を中心とする事前学習会や事後の報告会を実施した。また、派遣先におけるコミュニケーションツールとして「ハンドマッサージ」の技法を研修し、さらに山口県内における災害啓発セミナー等における被災地の状況報告と募金活動をおこなっている。
		8月31日～9月8日	岩手県陸前高田市	学生3名	学生ボランティア3名を、山口市のボランティア団体「じゃがいもの会」の主催する災害ボランティアに参加派遣した。視覚障害のある被災者支援、登下校児童の防犯支援(青バト)補助、瓦礫かたづけ等の作業に従事した。
		9月14日～9月20日	岩手県南部沿岸地域	学生7名	“GINGA-NET”を窓口とするボランティア活動に参加。
		11月24～27日	宮城県亘理町	学生4人	学生ボランティア4名が、地域のボランティア団体「山口災害救援」の救援活動に参加し、亘理町の仮設住宅における「まごごろバケツ・プロジェクト」配布、ならびに肩もみ、ハンドトリートメント活動を実施した。
65*	下関市立大学	回答なし			
66	香川県立保健医療大学	回答なし			
67*	愛媛県立医療技術大学	8月4日(木)～12日(金)	宮城県山元町、岩手県大槌町	学生2名、卒業生1名	復旧活動等のボランティア活動
		8月4日～12日 9月19日～25日	宮城県山元町、南三陸町、岩手県大槌町	学生5名、卒業生1名	本学の東日本大震災支援活動の一環として、学生の被災地でのボランティア活動を支援した。宮城県山元町、南三陸町では、現地災害支援ボランティアセンターの活動に参加し、岩手県大槌町では、生活支援活動を行った。
68*	高知県立大学	該当なし			
69*	高知工科大学	6/11-6/13	石巻市、女川町	学生11名	愛媛大学と合同で研究調査とボランティアを行った。
		10/5-13	仙台市	学生1名	家族と共に参加したもの。
70*	九州歯科大学	該当なし			
71*	福岡女子大学	回答なし			

No.	大学名	期間	派遣場所	人数(学生)	その他(備考)
72*	福岡県立大学	該当なし			
73*	北九州市立大学	9月中旬	宮城県南三陸町	18名	被災地での支援活動。
74*	長崎県立大学	該当なし			
75*	熊本県立大学	回答なし			
76*	大分県立看護科学大学	該当なし			
77	宮城県立看護大学	該当なし			
78*	宮崎公立大学	回答なし			
79	沖縄県立芸術大学	回答なし			
80	沖縄県立看護大学	該当なし			
81*	名桜大学	回答なし			